

記入例

平成 年 月 日

鹿児島県知事 三反園 訓 殿

高等学校等就学支援金

入学後 記入した日

今回(1回目)はここへチェック☑します。

受給資格認定申請書 (初回時)

高等学校等就学支援金(以下「就学支援金」といいます。)の受給資格の認定を申請します。

収入状況届出書 (2回目以降)

既に受給資格認定を受けているため、就学支援金の支給に関して、保護者等の収入の状況に関する事項について、届出書を出さず。

(上の2つの **2カ所**に☑を入れて下さい。 (ください。)

(次の2つの事項をこの欄の上、 (2カ所とも)にレ印を付けてください。)

この申請書又は

この申請書又は

支給をさせた場合に

以下の罰金等に処される

生徒の氏名の記入(名字と名前を分けて記入)

ふりがなは『ひらがな』で書いてください。

このことを承知しています。

(以下の空欄に生徒本人が署名してください。保護者等による代筆も可能です。記入に当たっては、別紙の「記入上の注意」及び「留意事項」をよく読んでから記入してください。)

ふりがな	しょうなん	みつこ
生徒の氏名	姓 樟 南	名 三 子

生徒の生年月日

生徒の生年月日	平成 13 年 4 月 7 日
生徒の住所	〒 891-7611 鹿児島 都道 大島郡 天城 市 天城297番地
保護者等の連絡先	(自宅) 0997-85-2511 または (携帯) 090-1234-5678
生徒が在学する学校の名称	学校法人 時任学園 樟南第二高等学校

自宅の番号か携帯番号のどちらかを記入してください。

(要です。)

※次のいずれかに該当する者は就学支援金の受給資格認定の申請ができません。

- ・高等学校等(修業年限が3年未満のものを除きます。)を卒業もしくは修了した者
- ・高等学校等に在学した期間(定時制・通信制等に在学した期間は、その月数を1月の4分の3に相当する月数として計算。)が通算して36月を超えた者(ただし、支給停止期間等は含めません。)

①現在の学校の在学期間	学校名 私立 樟南第二高等学校	平成 29 年 4 月 1 日 ~ (うち支給停止期間等) 平成 年 月 日 ~平成 年 月 日	学校の種類・課程・学科 高等学校 (全日制)
②過去の学校の在学期間	学校名 立	平成 年 月 日 (うち支給停止期間等) 平成 年 月 日 ~平成 年 月 日	学校の種類・課程・学科
	学校名 立	平成 年 月 日 (うち支給停止期間等) 平成 年 月 日 ~平成 年 月 日	学校の種類・課程・学科

太枠の中の記入例通りに書いてください。

【2. 保護者等の収入状況について】

今回(1回目)はここへチェックして下さい。

(1) 就学支給() (レ印を付けてください。)

4月～6月 (前年度の課税証明書等を添付) 7月～翌年6月 (今年度の課税証明書等を添付)

(2) **4**月() ()と記入して下さい。()月を記入。)における保護者等の状況及び添付する課税証明書等については次のとおりです。(次の①から⑦までのいずれかの□にレ印を付けてください。)

(2) - 1 次の保護者等の課税証明書等を添付します。

①	<input type="checkbox"/>	親権者(両親)2名分 ()	(2)-1 所得課税証明書等添付の場合 ①～⑤に該当する番号へチェック☑して下さい。 (別紙記入上の注意を参照)
		親権者1名分 (アからウまでのいずれかの□にレ印を付けてください。)	
	ア <input type="checkbox"/>	親権者の1人が控除対象配偶者であり、市町村民税所得割を課されたとしても所得制限の要件や加算支給の区分に影響がないことが明らかな場合	
②	イ <input type="checkbox"/>	親権者の1人が課税期日に日本国内に在住していないなど市町村民税所得割を課されていない場合	
	ウ <input type="checkbox"/>	・離婚、死別等により親権者が1人の場合、 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を添付できない場合 等	
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人 ()名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) (未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除きます。)	
④	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等	
⑤	<input type="checkbox"/>	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者 ・成人に達している場合、 ・未成年であるが市町村民税所得割を課されていない場合	(2)-2 所得課税証明書等の添付ができない場合 ⑥～⑦に該当する番号へチェック☑して下さい。

(2) - 2 次の理由により、課税証明書等を添付しません。

⑥	<input type="checkbox"/>	所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合
⑦	<input type="checkbox"/>	親権者、未成年後見人、主たる生計維持者又は生徒本人の全員が、課税期日に日本国内に在住していないなど市町村民税所得割を課されていない場合

課税証明書等を添付する保護者等の氏名及び生徒との続柄(⑥又は⑦にレ印を付けた場合は不要です。)

氏名	生徒との続柄	氏名	生徒との続柄
樟南 太郎	父	樟南 花子	母

※保護者等や収入の状況に変更があった場合には、変更となる場合がありますので、必ず学校に連絡してください。

(収入の状況に変更があった場合は) **所得課税証明書等の提出者の氏名と続柄を記入して下さい。** (別紙)

ここへチェック☑して下さい。

【3. 確認事項】

(次の事項を確認の上、□にレ印を付けてください。)

記入しないで下さい。

学校受付日 平成 年 月 日 (学校において記入。)